

## 令和元年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

## 施設概要

施設名	大阪市立阿倍野防災センター
所在地	大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13番23号
施設規模	阿倍野防災拠点の3階及び4階の一部2,304㎡
主な施設	市民の地震体験・学習施設

## 指定管理者

団体名	一般財団法人大阪消防振興協会、ノムラテクノ株式会社大阪支店、ジェイ・アクセス株式会社共同事業体
主たる事務所の所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
代表者	一般財団法人大阪消防振興協会 理事長 藤井 茂樹
指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日

## 1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針	
<p>阿倍野防災センター事業は、市民や企業の防災担当者等に災害時に必要な知識と技術を提供し、災害による被害の軽減につなげることが目的であり、共同事業体のそれぞれの専門性とノウハウのすべてを結集し、消防局が運営方針に掲げる市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現に向け、ともに取り組むことを方針としています。</p>	
(2) 職員の配置状況	
<p>ア (一財)大阪消防振興協会</p> <p>体験学習・研修訓練・企画広報・施設管理を効率的に運営できる職員を下記のとおり配置しています。</p>	
(ア) 名誉館長 (嘱託職員)	1 名
(イ) 防災センター長 (協会職員)	1 名
(ウ) 防災センター長代理 (協会職員)	1 名
(エ) 防災学習担当 (協会職員)	1 名
(オ) 防災研修担当 (協会職員)	1 名
(カ) 企画広報担当 (協会職員)	2 名
(キ) 管理担当 (協会職員)	1 名

イ ノムラテクノ(株)大阪支店

展示設備の定期保守点検や故障等の不具合発生時に、設備機器専門スタッフのうち必要人員を派遣し対応しています。

ウ ジェイ・アクシス(株)

アテンド・スタッフを常時8名配置しています。

(3) 施設管理状況

ア 建物管理

建物施設及び防災センター周辺の維持管理については、年度協定書に基づき適正に管理しました。

イ 体験施設管理

年度協定書に基づく定期点検及び日常点検を実施しましたが、重大な不具合等はありませんでした。

ウ 関係機関との連携

- ・ 複合施設あべのフォルサ全体の施設管理として、4局会議、事務担当者会議等を開催
- ・ 施設管理等の連携及び防火・防災対策として実施した自衛消防訓練〔令和元年9月5日(木)及び令和2年3月6日(金)〕において、防災活動の専門家として指導、アドバイスを実施
- ・ 3局合同で毎月1回庁舎周辺の清掃整理を実施

防災体験学習エリアの整備工事に伴い、次のとおり代替展示場を開設し運営しました。

(1) 期 間 平成31年4月1日～平成31年4月23日

(2) 場 所 防災研修訓練エリア

(3) 体験コーナー

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ア 「地震シアター」   | 防災映像の視聴                     |
| イ 「初期消火」     | 水消火器を使用しての初期消火体験            |
| ウ 「119番通報」   | 公衆電話や携帯電話による119番通報体験        |
| エ 「避難体験VR」   | VR（バーチャルリアリティ）を活用した火災避難疑似体験 |
| オ 「救出」       | 救助資器材の展示と使用方法の説明            |
| カ 「応急救護」     | 身近なものを使った応急救護の方法を体験         |
| キ 「防災体験シアター」 | 組立式のドーム型空間で防災の映像を視聴         |
| ク 「地震体験」     | 起震車による揺れの体験                 |

(4) 展示コーナー(主な展示物)

- |  |
|--|
| ア 「世界の消防の歴史ミニカー」「世界の消防車の歴史パネル」の展示        |
| イ 「大阪を襲った地震の歴史パネル」の展示                    |
| ウ 「レスキューパンダたすける」（阿倍野防災センターイメージキャラクター）の展示 |
| エ ミニ消防車、ミニ救急車の展示                         |
| オ 消防服の試着                                 |
| カ 防火・防災啓発用DVDの放映                         |
| キ 簡易型バーチャルリアリティシステムの設置                   |

なお、代替え展示については4月27日の防災体験学習エリアのリニューアルオープンに伴い撤去しました。

3-1 利用状況

- (1) 開館日数 270 日 (内臨時開館 6日間)
- (2) 休館日数 96 日
- (3) 来館者数 100,913 人

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)
4	2,708	23
5	9,188	25
6	7,529	25
7	11,708	25
8	13,695	28
9	11,385	25
10	9,219	24
11	11,413	27
12	6,454	22
1	7,765	23
2	7,772	23
3	2,077	0
計	100,913	270

一日の稼働時間 8時間

延べ稼働時間 2,160時間

一日平均利用者 374人

一時間平均利用者 47人

\*3月は防災体験ゾーンが休館のため  
開館日数には未計上。3月の来館者数は  
防災研修ゾーンの来館者数のみ計上。

3-2 防災研修ゾーン利用状況

- (1) 開場日数 299 日  
 (2) 来場者数 27,344 人

防災研修ゾーン月別来場者数

月	来場者数(人)	開場日数(日)
4	313	1
5	1,949	25
6	1,469	22
7	2,810	30
8	4,011	29
9	3,441	29
10	2,363	27
11	2,406	28
12	1,908	26
1	2,011	25
2	2,586	28
3	2,077	29
計	27,344	299

甲種防火管理新規講習	8,967人
防火・防災新規講習	6,478人
教育担当者講習	114人
自衛消防業務新規講習	4,206人
自衛消防業務再講習	1,823人
普通救命講習	475人
イベント等	5,281人

平成31年度阿倍野防災センター研修室使用予定表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日					1 教命講習			1 教命講習			1 教命講習
月			1 自衛新7		2 自衛再11			2 甲種32			2 防火防災20
火			2 教育担当		3 防火防災10	1 甲種22		3 甲種33			3 自衛再23
水	1 高圧		3 教育担当	1 自衛新11	4 自衛新14	2 自衛再22		4 自衛再17	1 休館日		4 自衛新22
木			4 教育担当	2 自衛新12	5 自衛新17	3 防火防災14		5 甲種33	2 休館日		5 自衛新22
金			5 教育担当	3 甲種12	6 甲種18	4 防火防災18		6 甲種34	3 休館日		6 自衛新22
土			6 教育担当	4 甲種12	7 甲種18	5 防火防災18	1 表彰式	7 防火防災19	4 休館日	1 甲種41	7 甲種46
日			7 教育担当	5 甲種12	8 甲種18	6 自衛新14	2 表彰式	8 防火防災19	5 休館日	2 甲種41	8 甲種46
月			8 教育担当	6 甲種12	9 甲種18	7 自衛新14	3 表彰式	9 自衛新24	6 休館日	3 防火防災25	9 防火防災29
火			9 教育担当	7 甲種12	10 甲種18	8 自衛新14	4 表彰式	10 甲種27	7 甲種37	4 防火防災25	10 防火防災29
水	高圧		10 教育担当	8 甲種12	11 自衛新15	9 防火防災18	5 表彰式	11 甲種34	8 甲種37	5 防火防災25	11 防火防災29
木			11 教育担当	9 甲種12	12 自衛再15	10 泡消火	6 自衛新21	12 甲種34	9 自衛新27	6 防火防災25	12 自衛新27
金			12 教育担当	10 自衛再4	13 自衛再15	11 泡消火	7 自衛新21	13 自衛再18	10 自衛新27	7 甲種42	13 自衛新27
土			13 教育担当	11 自衛再4	14 自衛再15	12 泡消火	8 自衛新21	14 甲種35	11 防火防災27	8 甲種43	14 甲種47
日			14 教育担当	12 自衛再4	15 自衛再15	13 泡消火	9 防火防災18	15 甲種35	12 防火防災27	9 甲種43	15 甲種47
月	13 自衛新1	10 防対再1	15 救命講習	13 自衛再10	16 救命講習	14 救命講習	10 自衛新22	16 自衛新25	13 救命講習	10 自衛新29	16 甲種48
火	14 自衛再3	11 自衛再6	16 救命講習	14 自衛再10	17 救命講習	15 自衛再15	11 自衛新22	17 自衛新25	14 甲種38	11 自衛新29	17 甲種48
水	15 自衛再3	12 自衛再6	17 救命講習	15 自衛再10	18 救命講習	16 自衛再15	12 自衛新22	18 自衛再18	15 甲種39	12 防火防災24	18 防火防災28
木	16 甲種4	13 自衛新5	18 自衛新12	16 自衛再15	19 自衛新16	17 自衛再15	13 自衛再15	19 自衛再18	16 甲種39	13 防火防災24	19 防火防災28
金	17 甲種4	14 自衛新5	19 自衛新12	17 自衛再15	20 自衛新16	18 自衛再15	14 甲種28	20 防火防災28	17 甲種39	14 自衛再21	20 自衛新28
土	18 防火防災4	15 救命講習	20 新史クイズ	18 自衛再15	21 甲種20	19 甲種24	15 自衛再15	21 防火防災21	18 防火防災28	15 救命講習	21 自衛新28
日	19 甲種5	16 防対再1	21 チャレンジ	19 自衛再15	22 甲種20	20 甲種24	16 防火防災21	22 カソリン2	19 防火防災28	16 防火防災28	22 救命講習
月	20 甲種5	17 防対再1	22 自衛再9	20 自衛再15	23 救命講習	21 甲種25	17 カソリン2	23 甲種29	20 自衛再19	17 自衛新30	23 甲種49
火	21 甲種5	18 防対再1	23 自衛再9	21 自衛再15	24 甲種21	22 甲種25	18 甲種29	24 甲種29	21 自衛再19	18 自衛新30	24 甲種49
水	22 自衛新2	19 防対再1	24 甲種10	22 自衛再15	25 甲種21	23 防火防災18	19 甲種29	25 自衛新25	22 防対点	19 防対再2	25 自衛再24
木	23 自衛新2	20 自衛再4	25 防火防災8	23 自衛再15	26 防火防災19	24 防火防災18	20 防火防災18	26 甲種36	23 防対点	20 甲種44	26 防火防災28
金	24 自衛再4	21 自衛再4	26 防火防災8	24 自衛再15	27 防火防災19	25 自衛再14	21 自衛再14	27 甲種36	24 防対点	21 自衛再24	27 防火防災28
土	25 甲種6	22 甲種6	27 救命講習	25 自衛再15	28 自衛新17	26 甲種26	22 自衛再14	28 休館日	25 自衛新24	22 自衛再24	28 自衛新31
日	26 甲種6	23 防対再1	28 救命講習	26 自衛再15	29 自衛新17	27 甲種26	23 甲種36	29 休館日	26 自衛新24	23 防火防災28	29 自衛新31
月	27 甲種7	24 自衛新6	29 救命講習	27 甲種16	30 自衛再12	28 防対点	24 甲種36	30 休館日	27 甲種40	24 自衛再22	30 防火防災28
火	28 甲種7	25 自衛再7	30 自衛再12	28 甲種16	31 自衛再12	29 防対点	25 甲種36	31 休館日	28 甲種40	25 自衛再22	31 防火防災28
水	29 防火防災6	26 自衛再7		29 防火防災9		30 自衛再12	26 防火防災18		29 防火防災24	26 自衛再22	
木	30 自衛新3	27 一般使用		30 自衛新13		31 自衛再12	28 自衛再18		30 防火防災24	27 甲種45	
金		28 一般使用					29 自衛再23		31 自衛再20	28 防火防災24	
土		29 一般使用					30 自衛再23			29 防火防災24	
日		30 一般使用					31 自衛再23			30 防火防災24	
										31 自衛再23	
										29 防対再4	

- 甲種防火管理新規講習(46回)
- 防火防災管理新規講習(29回)
- 教育担当者講習
- 自衛消防業務新規講習(35回)
- 自衛消防業務再講習(24回)
- 防火対象物点検資格者本講習(2回)
- 防火対象物点検資格者再講習(5回)
- 防火管理点検資格者本講習(2回)
- 防火管理点検資格者再講習(4回)
- KHK池消火設備点検講習会(1回)
- 救命講習(●回)
- イベント等
- 清掃(6回)

\* 一般使用  
-6/29(土) PM オークラホールディング(株)

4 成果指標の達成状況

大阪市立阿倍野防災センター管理運営業務基本協定書第5条に基づく成果指標の達成状況については、次のとおりでした。

なお、引き続き、平成26年8月4日付け提出の指定管理者指定申請書内の事業計画書に基づき、来館者の増加及び「体験したことを自分で職場や家庭で生かしたい」と答える体験者の割合の増加に努めてまいります。

※ 令和元年度の成果指標については、新型コロナウイルス感染対策に伴い成果指標より減少しています。

成果指標	達成度
<p>① 来館者数</p> <p>平成31年7月1日から令和2年3月31日までの9か月の内、来館者数の多い3か月における月間平均来館者数 12,500人以上</p>	<p>12,272人</p> <p>※7月11,708人、8月13,695人、11月11,413人</p>
<p>② 防災体験学習エリア及び防災研修訓練エリア</p> <p>体験者のうち、「体験したことを自分で職場や家庭で生かしたい」と答えた体験者の割合</p> <p>成果指標：全体験者の80%以上</p>	<p>98%</p> <p>*アンケート回答者数1,686人のうち『はい』と答えた人数1,651人</p>

5 実施事業・自主事業

(1) 主なイベントの開催

ア 「リニューアルに伴うオープニングイベント」

あべのタスカルリニューアルオープンに伴いオープニングイベントを開催

平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(祝)の10日間 参加者数 3,623人

イ 「防災クイズチャレンジ」

小学生以上を対象に、防災に関するクイズチャレンジと防災スリッパの作製や屋内消火栓の放水が体験できるイベントを開催

令和元年7月20日(土)、21日(日)の2日間

ウ 「キッズ&ユース・ファイアーイベント!」

8月の夏休み中に、幼児、小中学生とその家族を対象に消防士体験を開催

11日(土)、12日(日)は特殊消防車の展示を実施

令和元年8月6日(火)～12日(月)の7日間 参加者数 1,740人

エ 「シルバーエイジ・ファイアーイベント」

高齢者を災害から守ることを目的に、高齢者疑似体験や防火・防災展等を開催

令和元年9月14日(土)～16日(月・祝)の3日間

オ 「ガソリンの怖さ・スプレー缶の怖さを体験しよう!」

ガソリンや可燃性ガスの危険性を簡易実験装置を使用して危険性の認識を高める研修会を開催

令和元年6月9日(日) 参加者数 26人

令和元年11月17日(日) 参加者数 52人

カ 「防火・防災かたりべの会」

大震災や各種災害を経験した元消防職員等を講師に招き、防火・防災について語り伝える会を開催

令和元年6月23日(日) 参加者数 35人

令和2年2月16日(日) 参加者数 15人

キ 「パパ・ママ応急手当教室」

乳幼児に対する応急手当講習を開催(年5回) 参加者数 97人



<p>(2) 「防災講演会2020」の開催  日 時 : 令和2年2月3日 (月) 14:00~16:00  場 所 : ヴィアーレ大阪  参加者 : 300 人  ・基調講演  講 師 : 名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫 氏  テーマ : 「必ず来る震災で大阪を終わらせないために」</p>
<p>(3) 防災特別展等の開催  ア 2019「世界の消防の歴史ミニカー」特別展 (平成31年4月1日~令和2年3月31日)  イ 「防災週間」特別展 (令和元年9月1日~9月4日)  ウ 「防火・防災図画展」 (令和元年11月1日~11月12日)  エ 2019「世界の消防車の歴史パネル」特別展 (平成31年4月1日~令和2年3月31日)  オ 「防災とボランティア週間」特別展 (令和2年1月15日~1月21日)  カ 「春休み特別展」 (臨時休館のため未実施)</p>
<p>(4) 報道機関等からの取材対応  各報道機関への取材協力 25件  情報誌、Webサイトへの協力 10件</p>
<p>(5) その他  ア 「おでかけKID`SサマーP a s s」(大阪市高速電気軌道(株)主催)への協力  (令和元年7月20日~9月1日)  イ 「あべの天王寺・サマーキャンパス」への参画 (令和元年8月24日・25日)  ウ 「おでかけKID`SウィンターP a s s」(大阪市高速電気軌道(株)主催)への協力  (令和元年12月7日~令和2年1月13日)</p>

## 6-1 収支計画書

(単位：円)

収 入 合 計 (A)		94,039,385
項 目	業 務 委 託 収 入	93,389,385
	自主事業1収入 (防災用品販売手数料)	650,000
支 出 合 計 (B)		105,327,849
項 目	人 件 費	61,849,691
	物 件 費	43,478,158
	水 道 光 熱 費	11,695,725
	賃 借 料	907,434
	通 信 費	996,386
	消 耗 品 費	1,473,963
	広 告 宣 伝 費	0
	外 注 費	14,318,654
	設 備 ・ 備 品 費	0
	そ の 他	13,949,916
	自主事業1支出 (イベント経費)	136,080

## 6-2 収支決算状況

(単位：円)

収入合計 (A)		93,584,228
項 目	業務委託収入	93,237,962
	自主事業1収入 (防災用品販売手数料)	346,266
支出合計 (B)		104,533,345
項 目	人件費	68,167,989
	物件費	36,365,356
	水道光熱費	9,211,964
	賃借料	973
	通信費	836,301
	消耗品費	885,758
	広告宣伝費	0
	外注費	15,112,524
	設備・備品費	1,380,707
	その他	8,845,374
	自主事業1支出 (イベント経費)	91,755

賃借料 : 決算額973円-計画書907,434円=△906,461円 ※パソコンをリースから買入れへ変更

設備・備品費 : 決算額1,380,707円-計画書0円=1,380,707円 ※パソコン買入れによる増額

※ 収支決算状況の金額は消費税10%の金額で積算されている。(令和元年10月より)

7. その他

(1) サービスの向上

ア 夏休み等来館者が多数見込まれる期間に臨時開館を行い、来館者のニーズに対応しました。(3日)

イ 手話と3ヶ国語(英語・中国語・韓国語)の遠隔通訳システムを導入しています。

ウ 映像シアターの多言語化(英語・中国語・韓国語)を図り対応しました。

エ ご意見箱を設置し、市民の意見・要望等を受け、サービスの向上に努めています。

オ 指導員全員が、防災士等の資格を取得し市民からの質問等に対応しています。

(2) 管理経費の節減

阿倍野防災センターで使用されていたハロゲン電球をLED電球に変更し、経費削減とともに温室効果ガスの削減を図りました。

(3) 施設内安全管理及び衛生管理の向上

ア 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等を定期的に洗濯、消毒し、清潔保持に努めています

イ 手指消毒液(容器)を随所に設置しています。

ウ 不審者侵入時のマニュアルを作成し定期的に訓練を行なっています。

(4) 利用者からの苦情・意見等

特記事項なし

(5) 研修実績

ア 人権研修・接遇研修

外部講師による研修を受講しました。

なお、アテンダントなど未受講者へは防災センター長が教養を実施しました。

イ 教養研修




防災関係機関が開催する防災講演会等に参加し、防災情報の共有化を図りました。

ウ コンプライアンス研修

防災センター長が必要に応じて実施しました。

<p>(6) モニタリングの実施状況</p> <p>コース体験後のアンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コース体験者の満足度等の把握</li> </ul>
<p>(7) 個人情報保護への取組状況等</p> <p>ア (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程の遵守</p> <p>イ (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程取扱要綱に基づく事務処理の徹底</p> <p>ウ 申込書等の個人情報については、事務室の施錠保管庫に適切に保管</p> <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (一財)大阪消防振興協会コンプライアンス規程及び要綱の制定(平成25年10月1日)</li> <li>・ (一財)大阪消防振興協会内部通報に関する要綱の制定(平成25年10月1日)</li> <li>・ (一財)大阪消防振興協会インターネット及び電子メール適正使用に関する要綱等の制定(平成25年10月1日)</li> </ul>
<p>(8) その他の事項</p> <p>ア 体験記録カードの発行</p> <p>来館者の利用促進策として体験記録カードを発行し、来館時にもらえるスタンプが5個たまれば記念品を贈呈しました。(令和元年度 5名)</p> <p>イ 小冊子「地震に備えて」の点訳本を視覚障がい者用に10冊作成し、貸し出しを行っています。</p>

上記のとおり報告します。

指定管理者	所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号	
	商号または名称	一般財団法人大阪消防振興協会	
	代表者氏名	理事長 藤井 茂樹	
	所在地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号	
	商号または名称	ノムラテクノ株式会社大阪支店	
	代表者氏名	支店長 秋月 忍	
	所在地	愛知県あま市七宝町川部出屋敷69番地	
	商号または名称	ジェイ・アクシス株式会社	
	代表者氏名	代表取締役 赤羽 徹	